

# 上越市議会 女性が議員をめざしやすい環境づくり 女性フォーラム開かれる

高田公園オーレンプラザで18日（日）、上越市議会主催の「女性フォーラム」が開かれました。当市議会議員の他、県内17議会から47人の議員をはじめ215人が参加しました。市内からは、たくさんの女性のみなさんが熱心に講演やパネルディスカッションに耳を傾けました。

上越市議会では、議会・議員活動の「見える化」によって、議会や議員の活動がしっかりと市民のみなさんに伝わり、議会に関心を持ってもらえるようにと、議会改革に取り組んでいます。その一貫として、「女性が政治に関わる意欲の向上と周囲の人も含めた意識改革のきっかけづくり」を図ることが大切とのことから女性フォーラムを開催したものです。

講演には慶応義塾大学大学院システムデザイン・マ

ネジメント研究科准教授の谷口尚子氏を招き、女性が政治に関心を持ち、議員として関わることの意味などについて話していただきました。

パネルディスカッションでは、見附市議会議長の佐々木志津子氏、上田市議会議員池上喜美子氏、田上町議会議員今井幸代氏、それに当市議会から武藤正信議長が壇上で意見交換。3人の女性パネラーは、「女性が議員となることで、政治が身近に感じられるようになる」など、女性が議員として活躍することの重要性などをそれぞれの経験から述べ合いました。参加者からも様々な質問が出されました。

講師からは、「議員になって何をしたいのかを明確にすることが大事だ」など議員をめざそうとする女性へのアドバイスも語られました。



- お知らせ
- ◎うち越さくら氏
  - ◎森ゆう二氏
  - ◎武田りょうすけ氏
  - の3参院議員との参加が決定
- ◎梅谷守氏(国民民主)

## 定数、報酬検討委員会での議論

上越市議会では、若い人たちや女性も市議をめざしやすい環境を整備するために、昨年8月に定数、報酬、政務活動費について専門委員会を設置して検討してきました。まだ正式な結論には至っていませんが、大方の方向性が見えてきました。

現在、議員定数は32人（辞職や死去などにより在職者は29人）、報酬は月額44万800円、政務活動費は年額で会派分と個人分で各30万円となっています。

全国的にも、議員のなり手不足が問題になっていますが、上越市でも同じような傾向が続いています。前回選挙では立候補者数が34人で2人超過の少数激戦。そのうち女性は1人だけでしたが、昨年12月に辞職し現在0人となっています。

議会では、平成29年3月に市議をめざしやすい環境整備検討委員会を設置し、子育て世代や女性、若い人たちも議員になろうとするうえでの阻害要因を取り除こうと検討してきた結果、昨年の3月に適正な報酬や政務活動費、定数等の検討も必要だとの結論に至り、改革案の提言書がまとめられました。

この提言書に基づいて、議会改革推進会議の提言を受けて議長直轄の検討組織『議員定数及び報酬などのあり方検討委員会』が設置され、市民意見交換会や有識懇談会等で意見を聞き、最終的に各会派の意見をまとめました。会派の意見は下記の通りです。

会派名（所属人数）	創風（7）	輝（7）	みらい（6）	共産党（3）	市民クラブ（3）	公明党（2）
議員定数	削減30人	現状維持	現状維持	現状維持	削減（30人）と現状維持の両論	削減（30人）
議員報酬（月額）	現状維持	現状維持	増額（財源に政務活動費の減額分含）	現状維持	増額（49万4千円）と現状維持の両論	増額（49万4千円）
政務活動費（年額）	会派：減額 個人：増額	会派：減額（24万円） 個人：増額（36万円）	会派：減額 個人：減額（0）	現状維持	会派減額（15万）と個人増額（45万）	会派減額（12万） 個人増額（36万）

### 日本共産党上越市議員団ニュース

No.635 2019年8月25日

連絡先  
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)  
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)